

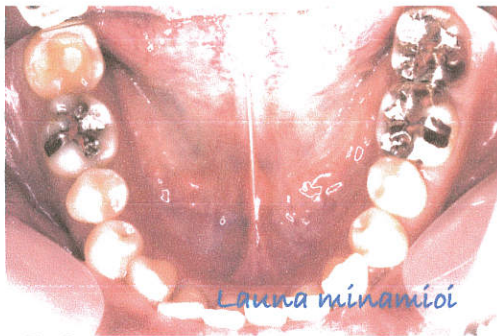
ラウナ南大井デンタルクリニック

Launa Minamioi
Dental Clinic

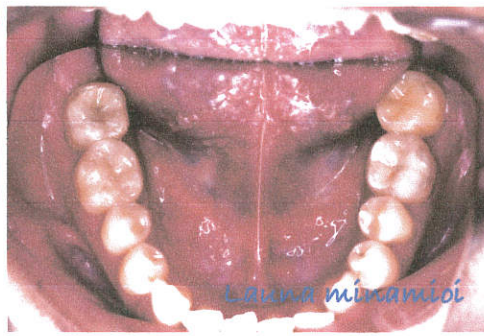
今回のコラム

セラミックス治療

～自由診療編

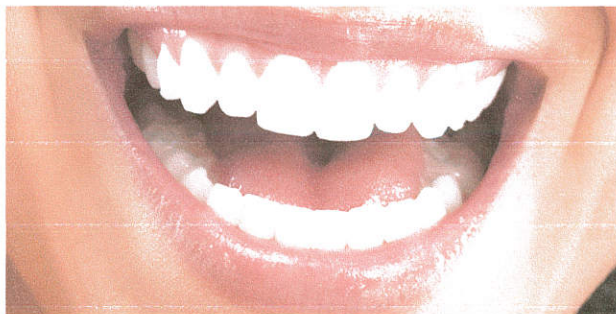


Before



After

『あなたの笑顔に自信』ありますか？



「セラミックスとは何か？」

「セラミックス」というと、どんなイメージを思い浮かべますか？ セラミックスについて問われた時、真っ先に頭に浮かんだのは、アニメ映画「風の谷のナウシカ」に出てくるセラミックスの剣でした。ものすごく硬い！というイメージでしょうか。また、「焼き物」、「セラミックスの包丁」、「硬いけど割れるんじゃないか？」、なんて言葉が頭を過ったような気がします。

では、もっと仕事の、産業的に、学問的にはどう説明すればよいのでしょうか？

書籍からの抜粋

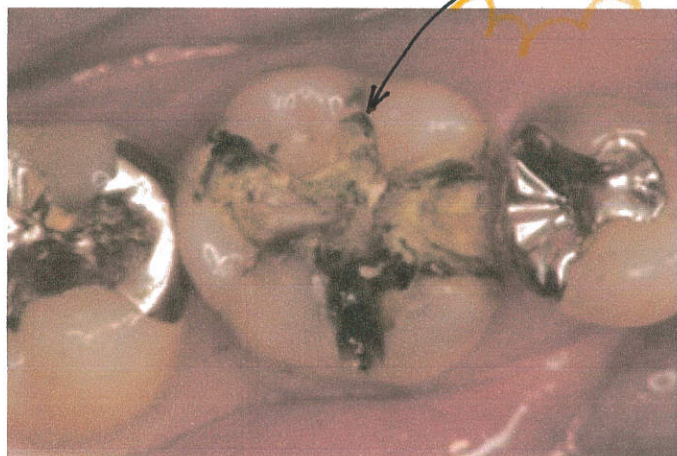
「セラミックスは粘土を焼いたもの」
「…粘土を成形し、窯の中で焼き上げる。このようにしてつくった…窯業製品のことをセラミックス (Ceramics) と呼んでいます。」
「セラミックスは焼き物ばかりでなく、ガラスやセメントのような「炉の中でつくる製品すべて」をそう呼びます。」

保険診療で使用されている金属とは？

現在、歯科治療で保険診療に用いられている金属は 12 パーセント金銀パラジウム合金 (銀歯) と呼ばれていますが、金は約 2 パーセントしか含まれておらず、銀・パラジウムがほとんどです。銀歯は50年前から保険導入された治療法で噛む機能を回復するには十分な治療方法です。

この銀歯治療は世界的にスタンダードかということそうではありません。これは日本で行われている治療であって、世界的に標準なわけではないのです。

銀歯を外してみると



よく勘違いをしてらっしゃる方がいます。それは、銀歯を詰めて治したから歯は治った！とってらっしゃる方です。正直を申しますと、銀歯を詰めること自体は、次の虫歯を作りやすくしただけと捉えていただけるといいと思います。

確かに虫歯は取りました。しかし、銀歯の性質上、精密なものではないですし、小さな隙間を狙って虫歯菌は虫歯を作ります。また、接着剤の性質も考えれば、劣化した接着剤と銀歯の隙間は虫歯菌の巣窟となります。

そして、銀歯の表面も腐食するとざらつきが出てきます。そして、ものを食べたり歯磨きをすることで銀歯の表面は細かい傷が付きます。するとそこに、汚れが溜まりやすくなり、虫歯になる。

この無限ループが繰り返されてしまいます。銀歯の寿命はだいたい **5年から8年くらい**と考えてください。

それ以上長いものに関しては一度外して治したほうがいいでしょう。

あなたの銀歯はどのくらい前に詰めたものですか？

銀歯の被せ物は抜歯へのカウントダウン

銀歯の被せ物は歯を覆う形のもので、虫歯が大きく、歯の神経を取る処置を受けた場合には、歯の一部を覆う銀歯の詰め物ではなく、歯の全体を覆う被せ物を入れることが多いです。

多いです。神経の無い歯はあなたにサインを送ってはいけません。痛みを発しないのが怖いのです。痛みを発しない銀の被せ物の下で広がった虫歯は、どんどん蝕んでいき、ついには被せ物ごと歯の頭の部分がゴロっと取れます。その時にはもうアウトです。深すぎる虫歯はもう手遅れになることが多いです。つまり、抜歯しなくては行けないということです。

セラミックス治療は歯科技工士が手作業で製作し、型取りから模型作りなど精密な工程を終えて完成していきます。保険診療と比較して診療費は高額と感じる方もいらっしゃいます。ラウナ南大井クリニックでは今後、多くの方にご自身の歯の健康のため、今後、なるべく治療費を抑えた診療提供を検討しております。是非、ご相談ください。

～6月のお知らせ～

▪ **6月27日(火)**

スタッフ研修を行うため休診とさせていただきます。

▪ **6月20日(火)**

矯正無料診断日

